

今週のメニュー

■トピックス

◇塩ビ素材の特長を活かした魅力ある製品を表彰するコンテスト

PVC Award 2023 開催 ～テーマ：生活を豊かにする PVC 製品～

PVC Award 実行委員会

■随想

◇ららら、プラスチック (10) ひげ剃りとプラスチック

前 日本プラスチック工業連盟 専務理事 岸村 小太郎

■トピックス

◇塩ビ素材の特長を活かした魅力ある製品を表彰するコンテスト

PVC Award 2023 開催 ～テーマ：生活を豊かにする PVC 製品～

PVC Award 実行委員会

塩ビ工業・環境協会（VEC）は、PVC（塩ビ）素材の特長を活かした魅力ある製品を公募し、表彰するコンテスト“PVC Award 2023”を2年ぶりに開催します。

本コンテストは、2011年にPVC関連業界の活性化を目的に、「塩ビものづくりコンテスト」として始まり、その後、「PVC Design Award」と名称を変更して2017年まで毎年開催してきました。2019年からは、PVCの特長を活かした製品開発や市場性にウエイトを置いたコンテストとして、装いも新たに“PVC Award”として開催されました(隔年開催)。

PVCは、省資源で加工性、印刷性、耐久性、難燃性、耐腐食性、リサイクル性などに優れたプラスチック素材です。このPVC素材の特長を活かして、機能を付与することで、私たちの生活の利便性向上やリサイクル、医療・福祉、安全、防災など社会に貢献している製品を募集します。



テーマは、「生活を豊かにする PVC 製品」で、販売開始から5年以内のPVC製品（2018年7月1日以降に上市された製品）、或いは、2024年12月までに商品化を

予定している PVC 製品が募集対象となります。軟質塩ビから硬質塩ビ、複合品を含む全ての PVC 製品で、製品の機能などの鍵をにぎる素材が PVC であれば、金属、繊維、他プラスチックとの複合製品も対象となります。

公募していただいた作品の中から選考により、大賞（副賞 100 万円）、優秀賞（副賞 10 万円）、特別賞（副賞 5 万円）、入賞（副賞 2 万円）を決定します。また、入選作品を中心に応募作品は、東京と名古屋で展示会を開催します。

<主なスケジュール>

- ・ 応募期間 2023 年 7 月 1 日(土)~2023 年 9 月 30 日(土)
- ・ 審査結果 2023 年 12 月 20 日（水）に公表予定（大賞 副賞 100 万円）
- ・ 表彰式 2024 年 2 月 6 日（火）の予定
- ・ 展示会 東京（2024 年 3 月）、名古屋（2024 年 4 月）の二か所

<応募対象>

国内で販売開始後 5 年以内の PVC 製品（2018 年 7 月 1 日以降に上市された製品）、或いは、2024 年 12 月までに商品化を予定している PVC 製品

- ・ 軟質、硬質の PVC 製品を対象とし、用途は限定しません。
- ・ 主素材、或いは、機能等の鍵をにぎる素材が PVC であれば、金属、繊維などの他素材や他のプラスチックとの複合製品も可能です。

<審査基準>

- ・ テーマ（「生活を豊かにする PVC 製品」）との整合性
- ・ 市場性：市場の規模・売上・伸び等実績、潜在市場獲得力があるか
- ・ 機能性：PVC 素材の特長が活かされ、機能性を有する製品であるか
- ・ 独創性：新規性や創造的な発想・表現がデザインされているか
- ・ 環境・社会貢献度：リサイクル、健康、防災、省エネなどへの貢献

前回開催の PVC Award 2021 では、応募総数は 95 点で、その中から準大賞 2 点（副賞 50 万円）、優秀賞 3 点、特別賞 4 点、入賞 5 点が決定しました（大賞は該当なし）。その後、入賞作品を中心に GOOD DESIGN Marunouchi（東京、丸の内）にて展示会を開催し、約 1,500 名の方が来場しました。更には、12 月に開催されるエコプロ 2022（東京ビックサイト、12/7~9）にて、当協会のブースに展示。ブース来場者 約 5,000 名に披露しました。作品公募から展示会まで、PVC 製品と PVC 素材の良さを広く知っていただくよい機会となりました。

本年開催の“PVC Award 2023”におきましても、PVC 素材の特長を活かした独創性のある作品の応募をお待ちしております。奮ってのご参加をお願いします。

尚、募集要項、応募方法、スケジュール等の詳細は、7 月 1 日（土）以降に PVC Award の公式ホームページ <http://pvc-award.com/index.html> でご確認ください。



GOOD DESIGN Marunouchi 展示会



エコプロ 2022 展示

■ 随想

◇ららら、プラスチック (10) ひげ剃りとプラスチック

前 日本プラスチック工業連盟 専務理事 岸村 小太郎

数年前から、ひげ剃り（シェーバー）にこだわっている。

と言っても、切れ味がどうの、と言う話ではない。どのひげ剃りを使えば（購入すれば）、捨てられるプラスチックの量を最小限に抑えられるかにこだわっている。

子供の頃の記憶では、私の父親は毎朝、金属製の T 字型ホルダーに片刃や両刃のカミソリを取り付けてひげを剃っていた。

私が毎日ひげを剃るようになったのは、大学生になってからだったろうか。使っていたのは、父親からのお下がりの T 字型シェーバーだったが、ホルダーにカミソリそのものを取付けるタイプから、カミソリが埋め込まれたカートリッジ（プラスチック製）を取付けるものに代わっていた。

やがて社会人になると電動シェーバーを使うようになったが、回転刃が肌に直接当たらないようにメッシュカバーがあるため深剃りがし難く、深剃りをしようと強く押し当てると肌に刃が当たり、血がにじむことも。そして、何よりの問題は電池切れがあることだ。出勤前に髭を剃っていたら、徐々に刃の回転数が落ち、停止……。朝の忙しい時間に何度かこんな経験をしている内に、電動式から T 字型シェーバーに戻っていた。

その頃から T 字型シェーバーは、1 個のカートリッジに埋め込まれた刃の数が 2 枚、3 枚……と増え、最近では 5 枚刃も出回っている（図 1）。

そしていつの頃からだったか、プラスチック製のT字ホルダーにカミソリを直接取り付けた、いわゆる使い捨て型のシェーバー（図2）がスーパーなどの店頭で並ぶようになった。このタイプは安価であることが特徴で、カートリッジ1個の値段よりも安いので、我が家でも長年これを購入するようになっていた。



図1. カートリッジ式シェーバー



図2. 使い捨て型



図3. オールステンレス

（フェザー安全剃刀株式会社のカatalogより）

このタイプを使っていた頃の私は、「廃棄後は、どこかで誰かがカミソリの部分を取り除き、プラスチックの部分はリサイクルでもされているのだろう」くらいに考えていた。

しかし、そうではなかった。

例えば、私が住んでいる街では、家庭から排出される容器包装以外のプラスチックごみも“資源ごみ”として分別・回収されリサイクルされるが、使い捨て型のシェーバーはカミソリが付いているので資源ごみには入れられず、危険物として焼却処理されている。

私が住む地域のごみ処理施設では、近隣の市と合わせ35万人分のごみを処理しているが、焼却炉には東京のような発電設備は付いていない。つまり、単純焼却されている。

そんなことから、廃棄（焼却処理）されるプラスチックを減らそうと、3年くらい前からはカートリッジ式のT字型シェーバーに切り替えている。同じカートリッジ式でも、カートリッジ部分だけではなく、カートリッジのケースも含め、捨てられるプラスチックがより少ない製品を使おうと、現在は異なるメーカーの4つ目のシェーバーを使っている。

この原稿を書くに当たり、T字型シェーバーのことを調べているうちに、冒頭で触れた金属製のT字型ホルダーにカミソリを取り付けるタイプのものがまだ（また？）売られていることが分かった（図3）。但し、数が出ないためか、安くはない（国内の老舗メーカーの品は、職人の手作りによるもので2万数千円！）。これであれば基本的に廃棄プラスチックは出ない。これでヒゲを剃るのはちょっと怖い気もするが、カミソリの材質も昔とは違うようなので、今度試してみようと思う。父親のことを偲びながら。

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)

※本メールマガジン上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。



■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <https://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL info@vec.gr.jp
